

ギカダイ 百景

豊橋技術科学大学では、現在18名の学生が「広報サポーター」に就任し、SNS発信等、学生目線で広報活動を行っています。広報サポーターが撮影したギカダイのちょっと素敵な風景「ギカダイ百景」をここでご紹介します。

ON-CAMPUS PHOTOGRAPHY FOR DESIGN PROJECT



設計課題のための学内撮影



take a walk on campus in autumn...



D棟学舎からの夕焼け空

研究室のロビーでは熱帯魚がお出迎え



めざましごはん、学内喫茶室ランチでパワーチャージ!



Memezashi Gohan in the canteen and Daily special Lunch in the cafeteria on campus



宵のキャンパス



国立大学法人 豊橋技術科学大学 広報

天伯 TEMPAKU

国立大学法人
豊橋技術科学大学
TOYOHASHI
UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

No.153
MARCH 2022

特集
DISCUSSION! 「実践×学問」の実務訓練
学生よ、現場で現実と自己を見つめ直せ!



技術を究め、技術を創る
国立大学法人
豊橋技術科学大学

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
国立大学法人豊橋技術科学大学 広報部会
〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
TEL 0532-47-0111(代) URL <https://www.tut.ac.jp/>



公式ウェブサイト



公式Facebook



公式Twitter



公式YouTube

キャンパス風景

大学のイメージカラーを基調とした学生ホールでは、自習をしたり、休憩をしたり、学生が思い思いに過ごしています。



CONTENTS

02 キャンパス風景

学生が過ごすキャンパスの風景の中には様々な物語があります

04 特集

ディスカッション! 「実践×学問」の実務訓練
学生よ、現場で現実と自己を見つめ直せ!

06 ラジオ番組「天伯之城ギカダイ」より

放送した中からピックアップした研究を2つご紹介

08 ギカダイ生の今!

現役ギカダイ生に聞く! 3つの質問
「オンラインってどうなの?」

10 輝くギカダイ卒業生

Message from TUT Graduates #8

11 NEWS & TOPICS

技科大の今日この頃

12 ギカダイ百景

ギカダイのちょっと素敵な風景

COVER STORY

Cover model / *Kiho Momiyama*

電気・電子情報工学課程 学部1年 初山 貴帆



工学系に興味があり愛知県立昭和高校から本学へ進学。「技科大で学ぶ中で自分が面白い、やってみようと思うことを見つけた」と意気込みを語ってくれました。今ハマっているのはドラマを観ること。学生広報サポーター活動にも参加し、YouTube動画制作などギカダイを盛り上げる様々な企画に挑戦中です!

Photographer / *Hanzo Tsubota*

電気・電子情報工学課程 学部3年 総合文化部写真部門 壺田 半蔵



「写真でみんなを笑顔にしたい」という想いで総合文化部写真部門に所属し、日々活動している壺田さん。透明感の中にも被写体の優しさや温度を感じさせる写真は、前号に引き続き、広報誌天伯に選出されました。学生広報サポーターとして、広報誌天伯編集部でもその腕前を発揮する一方、マイブームは、写真集を読むこととNetflix鑑賞、テスト勉強と学生らしい一面も。

学生よ **現場で現実と自己を見つめ直せ!**



実務訓練とは?

単位化 CREDIT
必修6単位

期間 TERM
学部第4年次学生
が2か月間従事する

派遣機関 DISPATCH
企業・研究機関・国・地方
公共団体などの264
機関(2022年2月現在)

目的 PURPOSE
社会との密接な接触を通じて、
指導的技術者として必要な
人間性の陶冶を図るとともに、
実践的技術感覚を体得させる

豊橋技術科学大学独自のカリキュラムとして、開学以来続く「実務訓練」。今回は、インターシップ制度と比較しつつ、実務訓練が学生にとってなぜ必要なのか、どんな特殊性があるのか、ご協力していただいている企業の代表にお話を伺いました。

**いま求められている力とは何か？
求めるものは技術力だけじゃない!**

江崎 昨今、全国の大学においてインターンシップ制度を採用する傾向が多く見受けられます。その中であって、豊橋技術科学大学が導入している「実務訓練」は、一線を画す取り組みであると私たちは考えています。そこで、本学が誇る実務訓練の特殊性を改めて見つめ直すにあたり、実務訓練にご協力いただいている企業様の立場からご意見を伺いたいと、本日はお集まりいただきました。

まず、お話を伺う前に、実務訓練委員長の戸高教授から、実施の背景や趣旨、インターンシップ制度との相違点をご説明いただきます。
戸高 本学は開学以来、実務訓練を継続して実施しています。これは実社会を経験することによって、実践的な技術感覚を持つ社会で活躍できる学生を本学から輩出することが目的です。また、12月までに卒業研究を含む学業を修めた4年生が、「本当に自分の実力が社会で役に立つのか」を確認でき、「自分が得意とするもの・苦手とするものは何か?」「社会が求めるものは何か?」を知ることにより、大学

院でさらに学業の質を高めるきっかけづくりという側面もあります。この点において、一般的なインターンシップと根本的に異なっています。
江崎 実務訓練は、実践的かつ社会で求められている技術力を、自身が持っている力と照らし合わせ、自己を見つめ直すチャンスになっていると考えられます。Society 5.0や新型コロナウイルス感染症など、激しく変化する現代社会において、求められている力も変化しているのではないかと感じるのですが、企業様ではどのように考えていらっしゃるかと。
大林 Society 5.0や新型コロナウイルス感染

Haji Obayashi
株式会社 アイシン
Executive Advisor
大林 巧治 氏



Mitsuo Yamamoto
株式会社 ニデック
医療開発部 開発一課 課長
山本 光男 氏



Yoshikazu Todaka
豊橋技術科学大学
機械工学系 教授
戸高 義一



Masato Esaki
豊橋技術科学大学
特定教授
江崎 将人



症などにより、ウェブやAIを活用した業務など、社会環境や働き方は少しずつ変化しています。しかし、科学技術の原理原則は不変です。ものづくりの課題も大きく変わるものではありません。今後も、ものづくりに興味を持ち、課題の本質を見抜き追究する力が求められています。つまり、ものづくりに対する想いと大学で学んだ学力、この2点が基本だと考えています。
山本 主体性と人間力が求められていると考えています。作れば売れる、性能が高ければ売れるという時代は終わっていると我々も感じており、よりユーザーに寄り添ったものづくりが重要になっています。エンジニアも顧客を意識した思考が求められており、主体性を持って自分ごととして捉えて取り組まなければ、仕事が進まない時代だと考えています。また、私はよく人間力と表現するのですが、学問を活用できること、自身を律すること、社会に貢献することなど、総合的な力である人間力がいま現場で求められているのではないかと感じています。
江崎 主体性と人間力は非常に重要かと思いますが、どのような方法で養うことができるかと考えますか。
山本 マネジメントの立場からしますと、みなさん潜在的に持っているものと思いますので、いかに我々が引き出すかが求められていると考えています。例えば、仕事をする上で色々な人や部署を巻き込みながら進めるのも1つの成長方法です。

いまの価値観を捨て、現場の生きた考え方にふれられるチャンス

江崎 いままで経験で実務訓練だからこそできること、身につくことはございますか。
戸高 新たな価値観への気づきがあると思います。大学内では同世代の限られた学生たちとの関わりしかないため、視野が狭く、新たな価値観を創造することは難しいです。しかし、実務訓練の2か月間、じっくり社会に出ることで、多くの考え方を吸収することができます。特に、ものづくりに対して「良いものとは何か?」と考

えた際に、世代間での考え方の違いは顕著です。学生にとってそれを理解することが、新たな価値観と視野の獲得につながります。実際に、実務訓練から帰った学生は、技術者として一皮剥けたと感じます。
大林 学生のみなさんは、そもそもものづくりに取り組む意欲や基礎学力を備えています。実務訓練では、実際の課題分析・方策検討や実行・計画策定に、職場メンバーの指導のもとで主体的に取り組んでもらい、報告会で終わるようにしています。苦戦する時間もあるようですが、学生さんは既成概念が少なく素直な目線で課題解決に取り組んでもらっています。実務訓練を通して、より具体的な課題に触れ、技術とものづくりの世界にもっと強く興味を持って、大きく成長することを望みますし、その感触は十分です。
戸高 私の指導学生がアイシン様で学ばせていただいたことがあり、御社で最後に開催される報告会に私も参加させていただきました。おっしゃる通り、学生が自分なりの成果を発表し、社員の方々から評価をいただけますので、充実感を得られ、学生の成長に繋がることを実感しました。
山本 実務訓練では、「決して良いことばかりではないんだ」ということを学べるのも特徴かと思えます。例えば、先ほどありました世代間の考え方の違いにより、若い社員が提案した企画が上司に一蹴されることもあります。仕事は決してキレイゴトばかりではないことを知るのも大切な勉強です。
実は、実務訓練を経験して弊社へ入社した2名の社員に話を聞いたのですが、訓練ではコミュニケーションの仕方と期限への意識を学んだと言っていました。成果を出すためには、何をすべきか、誰を押さえれば良いか、他部署とはどう関われば良いか、というコミュニケーションの大切さを感じたようです。また、期限を非常に意識したそうです。2か月という期限はもちろん、短期的なマイルストーンも設けられていますから、必死にならざるをえないですよ。このよ

うに厳しい一面についてしっかり見えるのも、長期的な訓練だからこそ知れること。それを知った上で会社に入社することは、学生のみなさんにもメリットがあると思います。
大林 そうですね。外観が立派でキレイな会社でも、中に入ると生産技術のスタッフが油まみれになりながら現場調査に取り組んでいたりと、技術的に高度な難課題に苦戦していたりします。みんなキレイゴトではなく愚直に取り組んで、いくつかの成果を得て、会社も技術者も成長しています。学生のみなさんには、ものづくりの現場の厳しさや魅力を肌で感じてもらい、立派なエンジニアへの第一歩にして欲しいです。
戸高 山本様がおっしゃった長期的な訓練のメリットで言えば、企業様がものづくりに対してどのような根幹を持っているのかを理解でき、それに対してどう取り組んでいるのかを学べるころがあると思います。やはり、そこまで踏み込むには2か月は必要になりますね。
山本 他にも、社員から大学でデジタル回路を習っていたことが会社の業務と初めて結びついたというような発言もありましたし、大学での研究活動がなければ、いきなりトライ&エラーをしながらの開発業務は難しいように思えます。その点で、学問と実務の結びつきを体験できることは、学生のみなさんにとってのモチベーションアップにつながるのではないのでしょうか。
**企業とのマッチング精度向上で
目指す目標に近づこう!**
戸高 今後、実務訓練を継続的に発展させていくために、学生が目指すキャリアをサポートできるような企業様とのマッチングを向上させていきたいと考えています。そのために、学生への調査や企業様の業務内容を把握し、事前準備を万全にしていきたいと考えています。
江崎 実務訓練を通じて、「社会で活躍できる人材育成」を中核に、大学と企業様が情報共有しながら、互いにメリットのある、より発展的な実務訓練を目指していきたいですね。

ON AIR

FM TOYOHASHI RADIO PROGRAM

天伯之城 ギカダイ

豊橋技術科学大学はFM豊橋(84.3MHz)とのコラボレーションにより、本学のアクティビティを広く皆様にご紹介するラジオ広報を放送しています。FM豊橋の人気パーソナリティ渡辺欣生さんが、本学のいろいろな研究室、サークルなどを訪問し、普段、素朴に思う技科大の「なに? なぜ? どうして?」を分かりやすく紹介しています。



こちらから過去の放送分の音声データをお聴きいただけます!
<https://www.tut.ac.jp/castle.html>



ラジオで放送した中からピックアップしご紹介します!

SHUNYA OKAMOTO

YUAN JIHUI

“Lab in a Bento Box 弁当箱サイズの小さな血液分析装置の開発”

先生は“お弁当箱サイズ”の血液分析装置を開発中ということですが、体格のいい先生のお弁当箱と僕のお弁当箱では大きさが違うそうです。

この装置はだいたいCDケースの大きさです。病院では血液を使って抗体検査やアレルギー検査をしますが、今の検査装置は巨大で数億円もします。大きな病院にしか置けず、結果がわかるのに時間がかかります。小さくて数万円のものでできれば“まちのクリニック”にも置かれるようになって検査のハードルがぐっと下がると思っています。

そもそも装置はなぜ大きくて高額になっちゃうんですか。

検査は血液や唾液を試薬と反応させたり、反応させた容器を洗浄する複雑な工程を絶妙なタイミングで正確に行うことが求められるので、装置がどうしても大きく高価になるのが理由でしょう。そこで我々は、こういう

“マイクロ流体チップ”を作って、小さくて安価でしかも複雑な操作をこなす装置の開発を進めています。

はい。ここにそのマイクロ流体チップがあるんですが、ホントにCDケースの大きさです。ていうかホントにCDケースですよこれ。マイクロチップって聞いたのでLSIみたいなのを想像していたんですがCDケースにCDのようなディスク状のものが入っています。ディスクには透明のゴムのような厚さ3mmほどのものが貼ってあって、よく見るといくつかの小さい穴があいていて、そこから透明の線みたいなのが複雑なパターンで回路みたいに巡らされています。

この穴に試薬などの液体を注入してCDみたいに回転させると、張り巡らされた流路を液体が遠心力で流れていきます。抗体検査は時間差でいろんな工程を手順よくこなす必要があるんですが、複雑な流路は水時計

みたいに絶妙なタイミングで検体と試薬を反応させたり容器を洗浄したりするよう設計してあります。これは我々が5~6年前に考案した独自のシステムで「ウォーターロック回路」と呼んでいます。

すごいですよ皆さん。細い流路が金管楽器の管みたいに納められてるパターンが芸術的に美しく、拡大して壁に貼ってインテリアにしたいです。

このパターンは検査の種類で変わります。いま研究は精度を上げる段階に入っています。マイクロ流体チップ上では、液体の表面張力の具合に影響されやすく、温度湿度の違いで結果が変わってしまいます。実用化を目指し、その影響を想定した上でより高い安定性をもった制御方法の開発に取り組んでいます。

是非頑張ってください。

今年の夏も暑くなりそうですが、先生は暑くない研究をしているとか。

はい。地球温暖化やヒートアイランド現象でますます暑くなっている都会ですが、建物の壁が日中に太陽の熱を吸収して、夜になると放熱して都市を暑くするんです。それを防ぐため、いま建物の外皮には高反射塗料が使われていることが多いです。

そうなんですか! それで建物が熱くなるのを抑えているんですね。

はい。しかし、反射した熱がほかの建物や道路に当たって吸収されて「都市のキャニオンに熱がたまる」という現象が起きています。

それでは結局ヒートアイランドのままですね。そうなんです。それなら反射する方向を、全部再び太陽に向けられればいいだろうという発想があります。材料としては「再帰反射材」となります。再帰反射材の塗料を建物に塗

“再帰反射材の研究”

れば、建物に当たった太陽光の45%以上を、もとのルートに返すことができるといわれます。でも再帰反射材の塗料はまだ存在しないんです。

そこで先生たちが研究しているんですね。研究の糸口はあるんですか。

はい。実は道路標識の表面は再帰反射材の原理を使っています。

あ! だから標識って夜道を走るクルマのヘッドランプにあんなにくっきり浮かび上がって見えるんですね。

はい。ここに標識で使われている標識のサンプルがあります。このウロコ状のパターンにガラスのビーズが無数に入っています。ガラスのビーズは道路のセンターラインの塗料にも使われている材料です。再帰反射材の材料としては、ビーズの他にプリズムもあります。これがビーズのサンプルです。

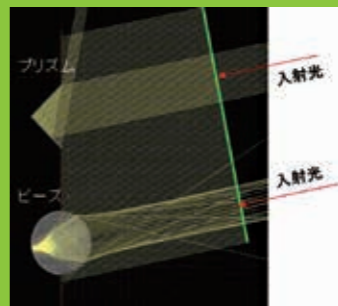
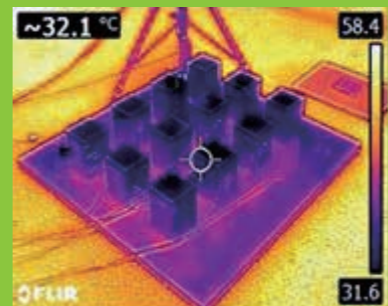
わー! 先生が様々な大きさのビーズのサン

プルをケースに入れて持ってるんですが、可愛くてきれいで、これ絶対小さい女の子が喜ぶますよ。

たくさんのビーズの球の中に入った太陽光が球の中で反射して、出るときにはもと来た方向に出ていくという仕組みです。このサンプルの場合、50%が元のルートに返されます。欠点としては、太陽高度が高くなると鏡面反射が強くなることがあります。そうするとまぶしくて、人の健康や暮らしに影響を与える恐れが出てきます。それをどう抑えるかも今、研究しているところです。ビーズのメッキを半分にしたり3/4にしたり…

ビーズにメッキするんですか。はい。ただ、小さなビーズはメッキが難しく。化学とかバイオとか、いろんな分野の先生と相談しながら鏡面反射を抑えるビーズを開発中です。

ありがとうございました。



いろんなことがオンラインになってしばらく、
ギカダイ生はどんな大学生活を送っていたのか!?
ちょっとご紹介!

オンラインって
どうなの?

現役ギカダイ生に聞く3つの質問

- Q1 あなたのことを教えてください!
- Q2 オンラインになって良かったこと/大変だったこと!
- Q3 新入生、技科大を目指す学生へのアドバイス!

講義がオンラインになったので
時間を有効活用できました!



Mika Ikari
電気・電子情報工学課程 学部3年
愛知県立豊丘高校出身 碓ミカさん

A1 技科大の研究レベルの高さに惹かれて入学しました。趣味は音楽で、サークルは軽音楽部に入っています!

A2 講義が主にオンデマンド型のオンラインになったので、好きな時間に講義を受け、時間を有効活用できました。後期からは徐々に対面授業が増え、サークル活動も再開したので楽しみにしています!

A3 普通科高校出身だと専門科目についていけないのか心配な人もいかもしれませんが、周りの高専卒の友達や先輩、先生方がサポートしてくれる環境なので心配ありません。女子は少ないですが、サークルなどに参加すると交流の幅が広がり、楽しい大学生活を送っています。

授業



Haruarachchi Harin Manujaya
大学院 情報・知能工学専攻 博士前期課程2年
GAC 富山高専出身
ハプアーラッチ ハリン マヌジャヤさん

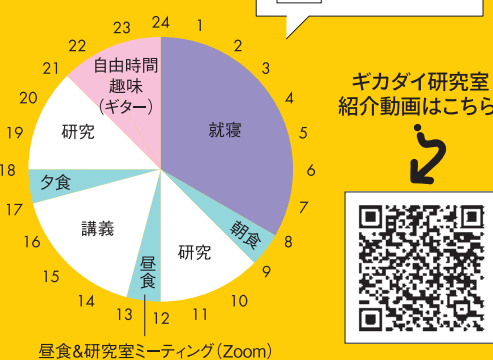
オンラインと研究室を使い分けながら
研究活動を進めています!

A1 スリランカ出身で、バーチャルリアリティを用いた心理学の研究をしています。博士後期課程への進学を考えており、日々研究活動に動んでいます!

A2 研究活動がオンラインになったので、在宅では主に論文調査やWebミーティング、データの解析、研究室では先輩の指導や実験を行っています。

A3 技科大は研究のレベルが高く、幅広い研究分野があります。興味のある学生は是非いろんな研究室を調べてみてください!

オンライン授業の1日
□...在宅(オンライン)



Riki Hasegawa

大学院 電気・電子情報工学専攻
博士前期課程1年 石川高専出身
長谷川緑樹さん



技科大の技術力は
企業から高く評価されています!

A1 無線計測システムの研究をしています。博士前期1年から就職活動を意識し、様々な企業へのインターンに応募しました。

A2 移動の必要がないので、多種多様な企業のインターンシップに参加できましたが、他の学生とのコミュニケーションが難しく、実際の職場の様子が掴みづらかったです。

A3 技科大は研究の設備が整っており、インターンシップを通して企業からもその技術力が高く評価されていることがわかったので、自分の研究成果やスキルをアピールしやすいと思います!

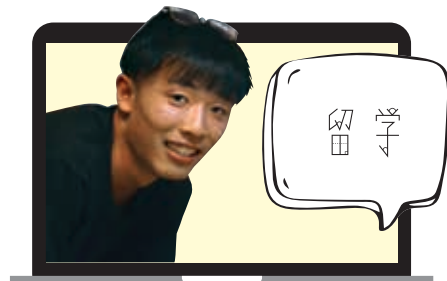


手軽に国々の文化や価値観の違いに触れることができました!

A1 環境エネルギー変換工学研究室に所属し、熱可塑性樹脂の燃焼特性について調査しています。コロナ禍で現地での海外研修が困難ですので、大学独自のプログラムを利用して積極的にオンライン留学に参加しています!

A2 オンライン留学は従来の留学と比べて、手軽に国々の文化や価値観の違いに触れることができました!

A3 自分のやりたいことが自由にできる場所が大学だと思います。だからこそ自分から行動することが重要! そのような学生を技科大は精一杯サポートしてくれます!



En Nagatsu
機械工学課程 学部4年
GAC 茨城高専出身 長津緑さん

オンライン留学の
費用を一部負担!!
「羽ばたけUTG
グローバル研修」



サークル

Kaisei Yamamoto

電気・電子情報工学課程
学部4年 GAC
大阪府立大学高専出身
山本魁世さん



サークル活動の方向性も
広がっている!

A1 高専時代からダンス部に所属し、大学でもダンスサークルで活動しています! 現在はサークル代表として企画・運営に尽力しています。

A2 オンライン技科大祭ではダンス動画を作成して公開しましたが、制作に不慣れなためカメラワークなどで苦労しました。しかし新しい試みに挑戦したことでスキルアップに繋がりました。今後のサークル活動の方向性も広がったと手応えを感じています。

A3 研究活動や国際交流など、貴重な経験を積むチャンスがたくさんあるので、是非やりたいことを見つけて頑張りたいと思います。

技科大祭

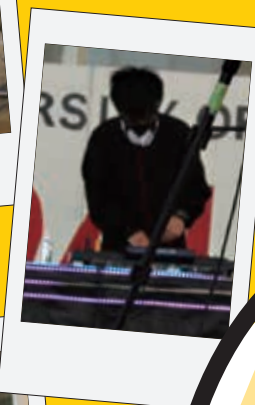
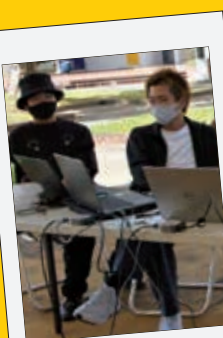
Yuma Kondo

機械工学課程 学部4年
東京都立産技高専出身
近藤有馬さん



Seiki Shibataka

機械工学課程 学部4年
和歌山高専出身
柴高誠季さん



初めての技科大祭
オンライン開催を実現!

A1 近藤有馬です。今年度の技科大祭では実行委員長を務めました。柴高誠季です。技科大祭では配信関係の総括を担当しました。

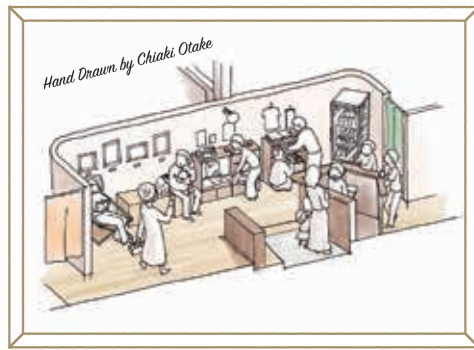
A2 初めて技科大祭のオンライン開催を実現しました! 対面でのミーティングが出来ず、準備が大変でしたが、技科大ならではの技術的に凝った文化祭を開催することができたかな、と思います。当日は地元の両親や友達からたくさんコメントももらえました。

A3 技科大の魅力は、やりたいことを実現できることだと思います。自分のやりたいことを見つけて、仲間と共に実現してほしいなと思います!



「ギカダイ生の今!」は学生広報サポーターで
企画・取材・編集を行い、制作しています!

ギカダイ 卒業生!



手描き図面工房マドリズ 間取り図クリエイター
／一級建築士／ゆとなみ社／人蔘湯スタッフ

2010年3月 建設工学専攻修士課程修了
大武 千明氏 *Chiaki Otake*

「全ての仕事において、人との関わりが大事だということ」

豊橋技術科学大学への入学前は、どのような子どもでしたか? また、入学を志望した理由はなんですか?

絵を描いたり工作したりすることが好きで、幼いながらもものづくりに携わる仕事がしたいと思っていました。大学受験に向けて進路を考えている中で、ものづくりの分野でも建築に興味を持ち、建築の勉強ができる環境で、かつ実家から通える距離の大学はないかと探した際、興味を引かれたのが豊橋技術科学大学でした。

豊橋技術科学大学で学んだことや印象に残っていることはなんですか?

学外で実践的なフィールドワークの機会をたくさん与えてもらったことが印象深いです。中でも、松島研究室のプロジェクトとして、豊川稲荷表参道商店街の景観整備事業で店舗デザインを提案させていただいたのは、その後の仕事にも活かされる貴重な体験でした。実測調査やデザインの計画、工事監理といった建築の実務的な経験に加え、商店街や行政の方々をはじめとしたプロジェクトに関わる人たちと出会い、コミュニケーションが大切だと感じました。今でも当時関わった人たちの仲は続いていて、中にはイラストの仕事に依頼して下さった方もいます。

また、幼い頃に住んでいた「水上ビル」をテーマとした、卒業設計に取り組んだことは感慨深いものがありました。卒業後は、社会人としてしばらく豊橋市を離れていましたが、この

ような地元について調べたり考えたりした学生時代の経験もあり、いつか豊橋市へ戻ろうという想いがずっと胸の内にありました。今は水上ビルから程近い人蔘湯で働いています。色々なご縁もあって、水上ビルに事務所を構えるクリエイターの方々に人蔘湯のリニューアルをお手伝いいただくなど、巡り巡っていまの活動にもつながっています。

大学で学んだことで、仕事に役立っていることはありますか?

手描き図面工房マドリズとして、建築・まちづくり分野のイラスト・間取り図の制作を主な事業としていますが、イラスト・間取り図制作においては、柔軟な発想でクライアント様に対しては、柔軟な発想でクライアント様に提案することを心がけています。そのルーツは学生時代の経験にあります。商店街の店舗デザイン提案の経験で学生らしいアイデアが求められていたことや、日本人とは全く異なる発想を持つ留学生たちのアイデアに触れたことは、固定概念を崩し、可能性に満ちた新たな視野を与えてくれました。まだまだ道半ばではありますが、発想の殻を破りたい時はいつも、当時の感覚を思い出すようにしています。

影響を受けた本を教えてください。

松島教授に紹介していただいた一冊で、妹尾河童著の「河童が覗いたヨーロッパ」です。プレゼンのために描いた図を妹尾河童みただと、先生がこの本を貸して下さったのが初めての出会いに。ヨーロッパ旅行で泊

まった部屋を上から覗いたように描かれているのが、分かりやすく楽しくて印象に残りました。数年後、銭湯を訪れてその間取りの面白さをどう表現しようかと考えた時にこの本を思い出し、河童さんのような描き方が適していると考えて描いたのがきっかけで、結果的に著書の出版に繋がっていきました。

仕事をする上で大切にしていることを教えてください。

全ての仕事において、人との関わりが大事だということです。特に、銭湯の仕事ではお客様とのコミュニケーションがとても大切。年配の常連様には、お話がしたくて来店される方もいますし、若いお客様も、会話を重ねることで常連になってくれることもあります。これは豊川稲荷表参道商店街での経験が下地になっています。今後は銭湯周辺の商店街とも連携していきたいと考えており、そうした発想にも学生時代の活動や当時の人脈が活かされています。

学生へ向けたメッセージをお願いします。

学生という立場だからこそできる経験や出会いがきっとあると思います。そうした機会を大切にしながら、学生生活を楽しんでください。



NEWS & TOPICS

TERASHIMAJUKU

学長講義「寺嶋塾」を開催しました

コロナ禍で悩み、不安を抱えながら学生生活を送る学生に向け、学長から学生へのエールを送る場として、11月より学長講義(寺嶋塾)を開催しています。学生向けには全5回、自らの学生時代の経験を踏まえ、それぞれの時期に身につけておくこと、経験しておくべきこと等を伝えています。教職員向けにも全3回の学長ゼミを行っており、コミュニケーションを取る良い機会となっています。

学生向け実施内容

- 第1回 「学問・人との出会いと留学生活」
- 第2回 「独創性の追求と学術社会への参加」
- 第3回 「学問との出会いとネットワーク創り」
- 第4回 「本格的研究の開始と大学院生としての自覚」
- 第5回 「青春謳歌と大学の自由」

教職員向け実施内容

- 第1回 「学問のプロとしての自覚と研究者人生」
- 第2回 「大学貢献とキャリアパス」
- 第3回 「教育・研究マネジメントと大学人としての責任」



SATELLITE OFFICE

豊橋技術科学大学サテライト・オフィスの開所式及び記者会見を行いました

11月16日(火)、豊橋市駅前大通に新たにオープンしたemCAMPUS 5階に、本学のサテライト・オフィスが設置され、開所式及び記者会見を行いました。

emCAMPUS 5階は、様々な「まなび」をテーマとするフロアとなっており、サテライト・オフィスは、今後、教職員の打合せの場や研究会だけでなく、地域に開かれた大学として次のような役割を担っていく予定です。

- ★ 地元地域から愛される大学、地元地域に貢献する大学を目指し、大学と地域を繋ぐ窓口
- ★ 公開講座や市民参加イベント等の開催のほか、地域関係機関及び地域企業との連携・技術相談などの地域に向けた活動拠点
- ★ 地域交流、リカレント教育、産学連携に関する様々な情報発信

オフィス入口横には、本学の研究や学生の課外活動について紹介する展示コーナーがあり、第一弾は、情報・知能工学系のインタラクティブデザイン研究室(ICD-LAB)となっています。また、デジタルサイネージ設置により、本学の最新情報を随時配信しています。



豊橋技術科学大学サテライト・オフィス
emCAMPUS EAST 5階(豊橋市駅前大通二丁目81番地)
<https://www.sharen.tut.ac.jp/satellite/>

SUPPORTER WANTED

豊橋技術科学大学 2022年度「学生広報サポーター」を募集します

豊橋技術科学大学では、本学学生を広報サポーターとして任命し、現在18名の学生が各種広報活動に参画しています。教職員と協力し大学を広報するこの業務では、大学見学の引率やSNSの発信、広報誌の制作にも携わり、学生目線のリアルな情報を皆さんにお伝えしています。また本年度からは、学生発案のYouTube企画も始動。ご興味のある学生さん、是非ご応募ください!!

- ♥ ギカダイを愛しギカダイの魅力をアピールしたい方
- ♥ 写真撮影や文章作成を得意としている、興味のある方
- ♥ 動画配信や企画に挑戦してみたい方
- ♥ 学業だけでなく、何か大学に貢献したい方

お申し込みはこちらから



SNSで活動を発信中!



本誌8ページ ギカダイ生の今! 取材撮影中



動画制作も試行錯誤しながら挑戦中!



ギカダイを「ごあんなん〜!」